

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和 7 年 9 月定例会	
議案番号 議案名	認定 第 1 号 令和 6 年度松戸市一般会計歳入歳出決算の認定について 認定 第 2 号 令和 6 年度松戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 認定 第 3 号 令和 6 年度松戸市松戸競輪特別会計歳入歳出決算の認定について 認定 第 6 号 令和 6 年度松戸市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 認定 第 7 号 令和 6 年度松戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 認定 第 8 号 令和 6 年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 認定 第 9 号 令和 6 年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 認定 第 11 号 令和 6 年度松戸市病院事業決算の認定について
議員名・会派名等	清風まつど(市川恵一、大橋博、田中睦生、石塚裕、大和山太郎、岡本優子、中村典子、渋谷剛士、杉山由祥、末松裕人)
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	過日開催された決算審査特別委員会において審査されました認定 第 1 号令和 6 年度松戸市一般会計歳入歳出決算から認定 第 12 号令和 6 年度松戸市下水道事業決算の認定について、会派を代表し、ただいまの委員長報告の通り認定することに賛成の立場で討論させていただきます。 私ども会派では、令和 6 年度決算を審査するに当たり、予算で示された施策の方向性が執行段階において着実に実施されているか、執行の過程においても経費縮減が図られているか、そしてその結果が住民福祉の向上に結び付いているか、主にこれらの視点での審査を心掛けました。 令和 6 年度は新型コロナウイルス感染症を乗り越え、市民の日常生活が正常化に向かっていく一方で、国際紛争の長期化による資源価格の高騰、インフレ圧力などの外的要因もあり、市政運営においても難しいかじ取りを求められる状況であったと推察します。 まずはそのような状況下において、事業執行に努められた執行部の皆様のご尽力に敬意を表します。そのうえで、本決算を通じて見えてきた課題と、今後の施策展開に活かしていただきたい点につきまして順次意見を述べさせていただきます。 まず全体として、歳入におきましては、その根幹となる市税収入は令和 5 年度に引き続き堅調に推移しており、その他の財源も適正に確保されていて関係各部署の取り組みを評価いたします。 また、歳出におきましては、子どもから高齢者に至る各層市民に対する支援策に併せて、未来への投資としてのまちづくり、施設設備の

整備・更新などの事業も行われ、厳しい財政状況の中で一定の成果を上げていることを評価いたします。

令和 6 年度において着手してきた数々の大型事業につきましては、その実現可能性をしっかりと精査して、説明責任を果たしながら今後の施策展開につなげていただけるように要望いたします。

それでは、以下、主な事業に触れながら申し上げます。

まず、総務費であります。

松戸市人口 50 万人到達記念事業を通して、多くの松戸市民がより一層この松戸市に誇りと愛着を持てたと評価いたします。

また子育て世代向けに運用していました LINE を松戸市公式 LINE アカウントとして全市民向けにリニューアルし、ブロック率も他市の同様のサービスに比べ大変低く、多くの市民に利用されていることがわかりました。また「自治会サポ！」とし町会・自治会向けのサービスも始めていただいたことも評価いたします。しかし、必要な人に必要な情報を届けると言うことは大変難しいことで、今後も情報提供の方法などを常に改善していただきたいと思います。

コンテンツ産業に関して、松戸市の特徴的な産業になりつつある一方で、必要性や効果に疑問を生じる事業もありました。費用対効果などをしっかりと評価することはもちろんのこと、可能性のある産業ですので、現在の施策を基軸としつつも、経済発展に寄与するような事業展開をお願いします。目先の数字だけにとらわれることなく、中長期的な視野で取り組んでください。

いじめ相談事業を市長部局に設置していただいたことは高く評価しています。いじめの相談件数が多ければ良いというものではありませんが、それでも1件あたりの費用がかなり高いことは指摘しておきます。本当に困っている人の声を行政が拾い上げることの難しさを認めつつも、いじめやパワハラで一人孤独に悩み、苦しんでいる人たちの声をしっかりと受け止められるように、より使いやすいものにすべく改善していただければと思います。

続いて民生費であります。

民生費においては予算規模が毎年増加する状況化、子育て施策、高齢者施策・障害者施策等、引き続き、それぞれの分野において、その業務に誇りを持ちつつも、財政面にも留意しつつ丁寧な施策の推進をお願い致します。その中で、障害、介護、保育それぞれの施設で働く方、加えて、地域の居場所やグリーンスローモビリティなど地域での活動においても担い手の不足は継続した課題であります。今後も人材の確保にご努力いただきますようお願い致します。

本市においては、「重層的支援体制整備事業」などいくつかの課が横の連携とり、総合的に支援していただいている点は大変評価できます。しかし、部署をまたがりますと責任の所在が曖昧になる恐れもありますので、責任者を常に明確にしながら事業を進めていただきたいと思います。

	子どもの未来応援事業については、子ども食堂への支援の充実ぶりは評価いたします。しかしながら、子ども食堂が、世代を越えた地域の居場所としての役割が強くなる中で、支援方法についても検討すべき時期であるのかと思います。各制度との整合性などを考慮しつつ、ご検討願います。 また来年度から始まる「こども誰でも通園制度」を見据えた事業も実施、その課題も見えてきたとのこと評価致します。課題をひとつずつクリアし、現場の職員さんたちが安心して対応できるように丁寧な説明や制度設計をお願いいたします。 令和 6 年度からは幼稚園に対しても支援事業を始めていただきましたが、これだけ私立幼稚園が成果を出している地域はまれで、松戸市の文化と評価してもよいでしょう。引き続き、より良い幼児教育、子育て支援をお願いいたします。 次に衛生費であります。 食育推進事業、健康増進事業、不妊治療助成事業、自殺対策事業、動物飼養管理事業、エネルギー対策事業、脱炭素社会創造事業等どれも市民の福祉の向上に寄与していると評価いたします。しかし、いかに素晴らしい事業であっても、その情報が必要な市民に届かなければ意味がありません。引き続き必要な情報を必要な人に届ける創意工夫をお願いいたします。 また基礎自治体として最も重要な事業のひとつはごみ事業です。六高台地区に新設する焼却施設の令和 16 年度の稼働へ着々と事業が進んでいることを確認できました。今後は付帯施設も含め、地元住民、地元町会等としっかりと対話を重ね、より良い施設にさせていただくようお願いいたします。 次に労働費・商工費ならびに農林水産業費であります。 労働費では「就職氷河期世代キャリア支援プログラム経費」を評価いたします。社会情勢の影響は個人の努力ではどうにもなりません。現在は人手不足だと言われている一方でその実力を正に評価されず社会で活躍できていない人たちがたくさんおります。そういった人たちのためにもさらなるご支援をお願いいたします。 農林水産業費では、後継者育成支援にかかる意向調査を実施したとのこと、評価いたします。本市は東京という大都市に隣接しており、松戸市の今後の都市農業をどうしていくのかということも含めて大いに議論を深めていただきたいと思います。 商工費では、にぎわい創出事業として松戸駅周辺のにぎわいを促進するため、官民連携でイベントを実施したとのこと。またそういったイベントが徐々に松戸市の補助等から独立し、イベント毎に独自に運営、開催できるようになっているとのこと大変評価いたします。ただし現在はほぼ全てが松戸駅周辺でのイベントにとどまっており、こ
--	--

れをいかに市全体に広げていくのか、今後の展開を期待いたします。

また商工費では、企業誘致事業を実施しておりますが土地等の問題もありなかなか話が進まないとのこと。しかし現在松戸市では北千葉道路とそれに接続する計画道路の整備も予定されており、これは松戸市の経済発展においては数十年に一度のチャンスです。

今こそ、北千葉道路関連事業に選択と集中をしてはいかがでしょうか。提案いたします。

次に土木費であります。

我が会派では社会インフラの整備が非常に重要であると考えます。もちろん民間活力にも大いに期待するものではありませんが、やはり松戸市全体の都市計画、再整備、再開発は、いずれも行政側がその先陣を切る必要があると考えます。

新拠点整備を中心とした松戸駅周辺地域活性化事業、常盤平団地の再開発、矢切地区の開発、新松戸駅東側地区土地区画整理事業や北小金駅南口東地区市街地再開発事業の推進は、本市の将来に資する重要な事業だと認識しています。民間活力の活用など、財源の捻出に工夫を重ね、健全な財政運営に十分配慮した上で、ときには大胆な政策を講じる必要があるのではないかとご提案させていただきます。また交通利便性向上検討事業を高く評価いたします。本市においても今後急速に高齢化を迎える地域も少なくなく、その地域ごとに適した公共交通の在り方を、地元自治会等とよく相談し、実現していただければと思います。

消防費であります。

災害対策ドローンを導入し、大規模災害時等に効率的な情報収集、情報共有ができるようになったとのこと評価いたします。またスマートフォンを利用した119番映像情報システムの導入も、評価いたします。多くの市民にそのシステムのことを知っていただく工夫をお願いいたします。

教育費であります。

ICT 機器を導入し数年が経ちました。ICT 教育は確かに受験勉強という限られた分野では、さほど力を発揮しないのかもしれませんが、その可能性は大変大きいものです。今後とも大いに活用していただきたいと思います。その際、ひとつ要望としては、ICT 機器は身体にハンディキャップがある児童、生徒さんにはとても役に立つ道具ですので、教職員はもとより ICT 支援員にもその分野の知識を学んでもらい、一人でも多くの児童、生徒さんの学習の一助にいただけたらと思います。

また図書館の整備に関して、本館の新設を中心に松戸市全体の図書館行政をしっかりと整理し、建物もサービス内容もより充実させてください。また、幼児・児童の読書普及業務について、おはなし会のよ

うな幼児、児童が絵本と触れる機会を作るとは、教育上非常に有用なことで評価いたします。引き続き、お願いいたします。

冒頭で申し上げましたが、市税収入は前年度比およそ2億円増の約730億円となり、過去最大となりました。引き続き、市税収入等の確保に努めていただくようお願いを申し上げます。

一点、財政調整基金の取り崩しについてですが、令和5年度よりおよそ26億5000万円の減となっており、その主な理由として物価高等への対応や国保会計への繰出し金などが挙げられます。これらは今後も同様の支出が続くとすると、財調による対応には限界があることから早急の対応を求めます。また健全財政を実現するためには歳出の効率化や受益者負担の適正化を図ることが不可欠でありますので、適宜適切な対応をお願いいたします。さらに市債の発行につきましても、今後の推移を的確に把握し、過度な将来負担とならないように慎重に行っていただきたいと思います。

以上一般会計決算につきまして、指摘等含め賛同する趣旨を述べてまいりました。

特別会計につきましては、松戸競輪特別会計歳入歳出決算について、第20回GⅡサマーナイトフェスティバルを獲得、開催し、売上目標額55億円に対し、64億円を達成したこと、さらに一般会計への繰出金6億円と松戸市財政に大きく貢献してくださっております。そして繰出金は松戸花火大会、松戸市独自の保育士支援制度「松戸手当」、さらには能登半島地震への寄付金として使われていることは非常に評価できることです。

また、子どもから大人まで楽しめることのできる様々なイベントを催し、地域の居場所としても機能している点も評価対象です。

企業会計につきましては、下水道事業決算について、「下水道の日」にちなんで開催している「まつど下水道フェスタ」では、1日当たりの来場者数が490人、マンホールグッズの売上も1日当たり過去最高額の83,980円となった点、高く評価いたします。

その他の特別会計、企業会計についても同じく賛同いたします。これらの会計におきましては、特定の歳入により事業運営をするという特別会計、企業会計の設置目的に従い、一般会計からの繰入金等に依存しない体質強化に努めていただきますようお願いいたします。

以上、認定第1号 令和6年度松戸市一般会計歳入歳出決算から認定第12号 令和6年度松戸市下水道事業決算の認定までの12議案につきまして賛成をいたします。

質疑の過程における要望、意見等を、今後の市政運営に生かしていただきますようお願い申し上げます